

Diario en México

Julio de 2019

フリーダの数奇な人生を辿る。



皆さんは「フリーダ・カーロ」という名前を聞いたことはありますか。おそらく彼女の眉が繋がった印象的な写真なら見たことがあるという人もいるのではないのでしょうか。フリーダはメキシコを代表する現代絵画の画家であり、メキシコにとどまらず世界に多大な影響を与えました。不運な病気と事故の後遺症で体の自由を奪われながらも、絵画のみならず、政治や芸術にも精を出した彼女の人生はまさしく波乱万丈と言えます。夫のディエゴ・リベラもメキシコを代表する有名な画家。そんな二人が26年間住んでいた家が美術館として一般公開されているので訪れてみました。



←フリーダ・カーロ（1907-1954）

メキシコを代表する女性画家。芸術だけにとどまらず、政治にも興味を持ち共産党へ入党したことも。ディエゴの不倫により離婚するが再婚。彼女の代表作、「二人のフリーダ」は近代美術館に展示されています。



↑家の中は鬱蒼としていました。



↑幼少期のフリーダ。

メキシコ最古の港町、ベラクルス。



シティからバスで5時間、最古の港町ベラクルスに旅行してきました。コーヒーが有名で、エスプレッソの入ったカップをスプーンで鳴らすとメイドさんがホットミルクを注いでくれます。空気を含んだコーヒーはほのかな苦味と甘みがして美味しいです。

メキシコ、最高でした！！



↑日墨戦略的グローバル・パートナーシップ第46期生の仲間たち

一年間のメキシコ生活も終了し、先日無事に帰国しました。初めは慣れないことばかりで不安でいっぱいでしたが、少しずつ生活やスペイン語にも慣れて、振り返ってみると非常に充実した1年になりました。日本ではできないような経験をたくさんさせていただいた中で、自分の未熟さも改めて痛感しました。大学に復学しても一層勉学に力を入れていきたいと思います。一年間メキシコという国について自分なりに工夫したレポートをお届けしてきたつもりですが、少しでもこの素敵な国について知ってもらえたら幸いです。今回、貴重な経験ができたのはプログラムを提供してくださった広島県を始め、メキシコ広島県人会、背中を押してくれた両親、そして私たちを支えてくださった皆様のおかげです。本当に感謝しております。ありがとうございました。